

氏名	豊 永 慎 二
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博乙第 3539号
学位授与の日付	平成13年3月25日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第4条第2項該当)
学位論文題目	Effects of Cilostazol on Heart Rate and its Variation in Patients With Atrial Fibrillation Associated With Bradycardia (徐脈性心房細動患者の心拍数及び心拍変動における Cilostazolの効果)
論文審査委員	教授 大江 透 教授 平川 方久 教授 佐野 俊二

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

【背景と目的】 Cilostazolは抗凝固作用以外に心拍数を増加させる作用があることが報告されている。徐脈性慢性心房細動の患者における心拍数及び心拍変動に対するCilostazolの効果について検討した。【対象と方法】 徐脈性慢性心房細動（最小心拍数<40/min、RR間隔>2.5sec）の男女13例。Cilostazol(100-200mg/day)を経口投与し、その投与前後においてHolter心電図を記録し解析した。【結果】 Cilostazol投与前後での比較を示す。最小心拍数、平均心拍数は有意に増加($P<0.01$)。最大心拍数も有意に上昇($P<0.05$)。余弦関数回帰から得られた心拍日内変動は変化なし。心拍時系列変化SDNN、SDANNは有意差なし。NYHA心機能分類は改善した。血漿ANP濃度は有意に減少($P<0.05$)。【考案】 Cilostazolは慢性心房細動における低心拍数を改善するとともに、心拍の日内変動と時系列変化を保持し、徐脈性慢性心房細動治療における有用性が示唆された。

論 文 審 査 結 果 の 要 旨

本研究は、徐脈性慢性心房細動患者における Cilostazol の効果について検討したものであるが、従来十分確立されていなかった徐脈性慢性心房細動における心拍数および心拍変動に対する Cilostazol の効果に関して重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。